

2. 附帯施設

(1) 補修

1) 集水枡、分水枡の補修

集水枡、分水枡の破損箇所や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。

【活動のねらい】

集水枡、分水枡において、水路との接続部に隙間が生じていたり、ひび割れや欠損がみられた場合、当該箇所の補修等を行なうことによって集水・分水等の機能の維持を図ります。



水路との接続部に生じた隙間
(角落しが入らない)

【活動の内容】

1-1) 計画

集水枡、分水枡において、水路との接続部に隙間が生じていたり、ひび割れや欠損等が生じていないか目視にて点検します。その点検結果に応じて対策方法を検討します。

集水枡と水路との接続部分に隙間が生じている場合は、モルタルを塗り込むことが考えられます。必要に応じて、モルタルを塗り込む前にディスクグラインダー（携帯型研磨機）などで隙間の表面を事前にカットします。

ひび割れが生じている場合は、U カット工法や表面塗布工法等といった対策が考えられます。

欠損している場合は、モルタルを塗り込む補修や型枠を設置してコンクリートを流し込む補修が考えられます。

いずれも、施設管理者や関係機関等と十分に相談し、対策方法を検討することが大切です。

1-2) 実施

①水路との接続部の隙間、欠損部分の補修（モルタルを塗りこむ場合）

ワイヤーブラシなどを使用して、補修箇所の周辺などに付着している泥やコケなどの汚れを取り除くとともに、タガネやハンマーなどを使用して周辺の脆くなっている部分を取り除きます。欠損部に接着剤（プライマー）を塗布したのちにモルタルを塗り込みます。側壁などに厚く塗る場合は、モルタルが流れないように固めに練ったモルタルを使用し、複数回重ね塗りをします。1回に塗る厚さはモルタルが垂れない程度に留め、固まった後に再びプライマーを塗り、モルタルを塗るといった作業を繰り返して補修します。

②ひび割れの補修（Uカット工法の場合）

コンクリートのひび割れ上にディスクグラインダー（携帯型研磨機）を使用してU字状にカットします。カット面をきれいに清掃し、必要に応じて接着剤（プライマー）を塗布します。カット部分に、コーキングガン等を使用してシリコン樹脂系補修材等をシーリング材として充填します。



枡の補修

1-3) 確認

水路に水を流し、水路と枡の接続部から漏水がないかを目視にて確認します。

経年変化によって補修部分に充填したモルタルが劣化したり、はく離したりすることもあるので、適宜、目視にて確認します。

【配慮事項】

- ・作業に当たって道路を占有するときには、事前に関係機関（所轄警察署等）へ相談し、必要な手続きなどを行います。
- ・補修材は各種様々なものが市販されています。製造会社のホームページや販売店等で作業に適したものを選びます。
- ・ひび割れについては、初期に生じた後それ以上は成長しない軽微なもの、時間の経過とともに徐々に大きく成長する深刻なもの等があります。その状態及び対策工法の判断には、施設管理者や関係機関等に相談することが重要です。

【集水枡、分水枡の補修】

～活動例～

○集水枡の補修

・対象施設

集水枡（1箇所）

・活動内容

集水枡の壁が大きくひび割れていたため、壁を取り壊し、型枠を組み立て、新たなコンクリートを打ち込んだ。

・活動時期

2月

・参加者

水土里ネットの指導のもと、農業者4名